

ふるさと 育親コミュニティスクールだより

発行: 育親学園 学校運営協議会事務局(育親学園内)

コミュニティスクール
広報誌 第1号
令和7年5月30日発

令和6年度より義務教育学校として開校し、今年度新たな歴史の2年目がスタートしました。育親学園では昨年度に引き続き、学校運営協議会を設置し、コミュニティスクールとして、より一層教育活動が充実するよう地域の皆様と連携・協働を進めております。

西部地域は、田園風景もたくさんあり、自然を直接感じることができます。野菜などの栽培も多種にわたっており、季節ごとにさまざまな食材を楽しむことができます。育親学園では、独自の教科として「ふるさと科」を設置しており、そのめあての1つに、『ふるさとに関心を持ち、ふるさとの将来を見つめる力を育てる』としています。具体的には、1stステージ(1~4年)『地域を知る』取組、2ndステージ(5~7年)『地域とつながる』取組、3rdステージ(8~9年)『地域について考える』取組を進めています。

学校運営協議会では、『ふるさと科』など本校の特色ある取組がよりよい取組となるよう議論を進めていくこととなっています。一方、『ふるさと科』など本校ならではの具体的な活動や取組内容は、地域学校協働活動のメンバーである地域コーディネーターがたくさん関わっています。西部4町それぞれにおられ、地域にあるさまざまな人材などを紹介していただいています。

本稿では、学校運営協議会や地域学校協働活動の取組内容を紹介し、子どもたちの活動の様子などをお知らせしていきます。どうぞよろしくお願いいたします。

【令和7年度役員の紹介】

○学校運営協議会

畑野町自治会長	堀田 稔(委員長)
本梅町自治会長	由良 隆夫(副委員長)
宮前町自治会長	太田 敬
東本梅町自治会長	中川 俊夫
地域コーディネーター代表	中村 俊孝
育親学園PTA会長	藤田 理恵
育親学園校長	久保 日出樹

○地域コーディネーター

本梅町	中村 俊孝
畑野町	山内 勇
宮前町	太田 喜久男
東本梅町	藤田 理恵

<<一学期の主な活動の紹介>>

【第1回学校運営協議会】

5/14(水)に第1回学校運営協議会を開催しました。校舎を回りながら新校舎建設の進捗状況などを確認し、全学年の授業を参観していただきました。

「児童生徒のあいさつがとてもよい」

「先生も児童生徒も、参観者が入ってきても、授業に集中している」

などの感想をいただきました。

その後の協議会では、校長から学校教育目標や重点課題について説明があり、教頭から教育課程(ふるさと科の取組など)や義務教育学校のメリットを生かすステージ制の採用、児童生徒の様子などをパワーポイントで紹介しました。その後に意見交流をしました。

「義務教育学校(1~9年制)のメリット・デメリット」「学力向上に向けて教科学習をステージ制でどのように伸ばしているか」「学力テストなどの状況」「児童生徒の生活の様子や部活動の様子」「現校舎の構造について」などが議題に挙げられ、積極的な意見交流がされました。

今後も学校運営協議会を中心に、地域が学校と協働で子どもたちの学びに関わることで、ふるさとを愛する子どもたちの育成や醸成につなげていきたいと思っています。



本年度 どうぞよろしくお願いいたします

【西部地区カリキュラム部会】

4/17(木)・18(金)、本梅こども園、森の自然こども園東本梅の園長先生や担当の先生に1年生の授業を参観していただきました。こども園でお世話になった先生方を見て、喜んで手を振る子どもたちの姿がありました。入学式からまだ、数日しか過ぎていないこの時期は、まだまだ学校に慣れず、不安な気持ちの子どもがいます。そんな中でこども園の先生に来ていただくことは、「卒園してもみんなを見守っているよ」というメッセージがあり、0歳から15歳まで「包み込まれている感覚」を子どもたちに持たせることができる取組だといえます。参観後には1年生の様子や今年度の架け橋期カリキュラムについて交流を深めました。今後も西部地域こども園との連携を密にすることにより、架け橋期(義務教育開始前後の5歳児から1年生の年間)にふさわしい主体的・対話的で深い学びの実現を図り、学びや生活の基盤を育むことを目指していきます。



【城山ハイキングでの春みつけ】

自然体験活動アドバイザーの方にお世話になり、城山の歴史や、地域にいる虫や草花の特徴・生態などを学びました。みんなとお弁当を食べて楽しい一日を過ごしました。子どもたちが、地域の中の自然にふれあうことで、ふるさとを大切にする心を養うことができ、とても貴重な体験となりました。



【学校農園での野菜の栽培】

地域の方のアドバイスを受けながら学校農園で、ミニトマト、きゅうり、なす、ピーマンの苗を植えました。どうすれば立派な野菜が育つのかを考えながら、苗を植えていました。「植えてすぐは、たくさんの水をあげてね」とアドバイスをもらい、みんなでしっかりと水やりをしました。たくさんの野菜が収穫できることをとても楽しみにしています。「食育」をテーマに、主に1stステージでは「地域の野菜を育てて食べる」、2nd ステージでは「田植え・米の収穫」、3rd ステージでは「地域の食材でピザを作る」などの計画が立てられています。



【読み聞かせボランティア『はぐくみ』の活動】

「わくわくタイム」の時間に、読み聞かせボランティア「はぐくみ」さんに来ていただきました。学年に見合った物語を準備していただき、教室や図書室に分かれて読んでいただきました。子どもたちは物語の世界に入り込んでいました。

本校では「地域学校協働活動として、読み聞かせ、図書ボランティア活動、登下校の見守り活動、ふるさと科に係る学習支援活動を中心に組織体制を構築する」ことを重点課題のひとつに掲げており、今後も工夫しながら継続した取組を進めてまいります。

